

あけましておめでとうございます！



新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。
本年も何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

昨年一〇月一日、「社会福祉法人 聖和福祉会」は「社会福祉法人 聖の家」から分離独立し、新たなスタートをさせていただくこととなりました。社会福祉法人のなすべき使命を自覚するとともに、財務基盤の安定・確保に努め、

当地域の社会福祉の充実に邁進させていただく所存でございますので、ご指導・ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、東日本大震災、福島原発事故、台風十二号の被害などの災害がありました。また、歴史的な円高、欧州の金融危機、今までの私どもの豊かな生活を支えるために蓄積してきた財政赤字等の問題が山積しているなかで、急激に進む少子高齢化、社会変化の進行に伴うホームレスの増加等を初めとする貧困問題、児童・高齢者・障がい者等の社会的弱者に対しての虐待問題、孤独死、自殺、いじめ、不登校等様々な福祉課題が一層増大、顕在化してきています。

このような時代状況にあつて、「社会福祉法人」は、自らの使命を再認識

ひだまり

発行所
聖愛園
〒519-2211
三重県多気郡
多気町丹生4701
TEL 0598-49-3115
fax 0598-49-3783

し、地域社会の様々な福祉課題に積極的に取り組んでいかなければならないと思っております。

「のんきに構えてはいられない。」
「よほど努力しないと現状維持すら難しい。」

私たちは、今やるべきことを着実に実行していかねばなりません。今後一〇年間に松阪・多気郡両地域において障がいをもたれた七〇〇名以上の方々が十八歳になられます。一方、管内の入所支援施設、通所支援施設は、ことも満杯で受け入れる事が出来ない状況にあります。

松阪市や多気町が特別支援学校の誘致を進めているようでございますが、その設置と併せ、私ども「聖和福祉会」は通所支援事業所の開設と、相談支援事業等地域の障がいをもたれた方の支援に着手したいと考えております。本年の皆々様のご多幸を心よりお祈りいたします。



社会福祉法人
聖和福祉会
理事長
山岡隆

施設外研修

他施設での研修を実施

昨年六月以降、県内の障がい者施設へ当施設の職員を順次二名、四日程度派遣し、施設外研修を実施しております。

他の施設を見ることにより当施設を客観的に捉える事と、他施設の良い所を吸収し当施設の支援に反映させる事が大きな狙いです。

どこの施設も持ち味が違い、それぞれの強みを生かした支援をしていると感じました。利用者様の身体的状況（障がい程度）や施設の構造上などの違いもあり、全てを取り入れるには難しい部分もありますが、研修の成果を今後の支援に反映していきたいと思っております。

この研修が当施設の全職員の知識や意識の向上に繋がればと願っています。今後も様々な形の研修を取り入れ、職員のスキルアップに努めていきたいと思っておりますので、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、ご協力・ご指導いただきました県内の障がい者施設の皆様、厚く御礼申し上げます。

サービス管理責任者
弓木昭人

第12回 聖愛園クリスマス会開催!



「笑顔」と「ほっこり」
楽しいクリスマス会

十二月十一日、待ちに待ったクリスマス会が開催されました。

二十二年度は胃腸風邪の影響で中止しておりましたので、二年ぶりのクリスマス会!当日は新法人 聖和福祉会の新たな出発にふさわしく利用者さん全員参加の嬉しい開催となりました。練習を重ねたクリスマスソングと『マルモリ』『フライングゲット』の二つのダンスでは、その成果を元氣いっぱい披露して頂くことができました。

ボランティアの皆さんによる歌と演奏、マジックも大好評でした。はっぴー7さんのバンド演奏は、懐かしい昭和の名曲オンパレードで、皆と一緒に口ずさみ楽しい憩いのひとときとなりました。マジック教室の方々のほのぼのとしたショーでは、全員が笑顔になりました。ほっこり感が会場を包み込みました。

生活支援員
クリスマス会担当
田中恵子



最南端の町 紀宝町へ

日々の生活に変化を持って頂く為と、園外での刺激を十分に体験して頂けるように、利用者さんの趣味や体力に合わせて様々な外出活動を企画実行しています。

これまで午後之余暇の時間を利用して外出活動を行っていましたが、昨年の秋からは、今までの経験を踏まえ外出時間を延長し行動範囲を拡げゆつくりと一日かけて外出活動に出かけていけるような取り組みを始めました。



その先駆けとして、紀宝町にある『道の駅ウミガメ公園と七里御浜散歩』のロングドライブに出かけました。遠方ということで第一に安全運転と利用者さんの体調の変化の把握に努めました。が、帰園後に利用者さんから『海辺を散歩して、大きなウミガメも見られて楽しかった!』という感想を聞かせて頂くことが出来ました。

今後は、利用者さんの体調を考慮しながら公共交通機関を利用しての泊旅行なども視野に入れて、より楽しんで頂ける外出活動にしたいと考えています。

生活支援員 脇田真由美

全員で遠足へ

遠足——それから想像すること、リュックサックと弁当水筒と……。古いかもしれないがそれしか思いつかない。近年そんなこともなく、少し憧れてしまふ。

よし!みんなで行ってみよう!

数々の問題もあったけど、だからこそやってみよう。と。体力的な面、移動など考え近いところだと思ひ、五桂池ふるさと村へ。念願の集合写真を撮り、厨房で作ってもらったお弁当を食べ、そして動物園へ。坂道の車椅子はちよつときつかったけど、笑いながら歩けばそれも乗り切れる。

自分の意思を伝える事の難しい利用者さんに何を提供すべきなのか?課題も残したが『みんなで行きたい』それが私の目標だ。

今年も何か目標を持ち、心に残る遠足の計画を立ててみたい。

支援部主任 油田雅子



厨房より 栄養ケア 業務を実施

聖愛園は、平成二十一年五月から栄養ケア・マネジメント業務を実施しています。一人ひとりのBMIと体重の変化率、食事摂取状況から、低・中・高のリスクを求め、リスク別に見直し期間を設定し、栄養ケア計画書を作成します。計画書は、保護者の皆様に説明と同意をいただきます。利用者の皆様は、年を重ねるごとに課題が増えてまいりましたが、これからも、一人ひとりの健康面での栄養に配慮した計画を立てていきたいと思っています。



イベント給食実施!!

次にイベント的な給食を紹介します。
マンネリ化しがちな給食にさわやかな風を入れたいと始めた行事ですが、利用者の皆様にも大好評です。

八月には『流しそうめん』を行いました。厨房から食堂へと素麺を流し、竹の周りを囲んでの食事は、利用者の皆さんも楽しそうでした。



十月には、中庭でU字溝を利用して秋刀魚を焼きました。全員が食べられるように、骨なしの解凍秋刀魚でしたが、炭で焼いた秋刀魚は格別でした。その隣では、焼き芋釜を利用した『じゃがバター』。これも美味しく大好評でした。

二月の保護者面会日には寿司職人を招いて、利用者・保護者・職員の親睦会を兼ねたお寿司パーティーを計画しております。

今年も、栄養ケア・マネジメント業務や、利用者の皆様に喜んで頂ける給食業務に頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

栄養士

田上早苗



医務室より 施設内研修を とおして

当施設では、今年度も全職員を対象に、施設内研修が実施されております。毎月プログラムに沿って研修が行われますが、私が担当させて頂いております研修は

- (一) 緊急時の対応シリーズ①
誤飲・誤嚥時の対応
- (二) 緊急時の対応シリーズ②
心肺蘇生法
- (三) 緊急時の対応
「講師…消防隊員」
- (四) 感染対策シリーズ①
標準予防対策
- (五) 感染対策シリーズ②
インフルエンザ予防策
- (六) 感染対策シリーズ③
ノロウイルス予防策

となっております。



看護師 大西里美

研修をとおし、全職員のスキルアップを目指すことは勿論ですが、先を見通し体制を整えることで、利用者様にとって安全で安楽な環境を提供していただけるのだと感じています。

そして何よりも、研修実施という課題を与えて頂いたことで、私自身が改めて勉強をし直し、再度振り返る良い機会となりました。

まだまだ勉強不足であり、職員の皆さんにとって研修内容が満足いくものであったかは自信のないところではありますが、私自身が今後も学ぶ姿勢を忘れずに、より良い看護が提供できるように日々努力していきたいと思っております。



ぽんぽこ 茶や

毎週日曜日、デイルームにて喫茶『ぽんぽこ茶や』を催しています。
ケーキやプリン、たい焼きなど利用者さんに喜んでいただけるメニューを考えています。



生活支援員 村上克己



あり、大変勉強させていただきました。



聖愛園に勤めて二年半近くが経ちました。福祉の仕事は初めてで分からない事ばかりで不安もありましたが、良き先輩方のお陰で今日まで頑張ることが出来ました。

十一月には、紀南ひかり園さんへ研修に行かせて頂きました。紀南ひかり園さんは職員間の連携が素晴らしく見習うことが沢山

十二月にはクリスマス会があり、利用者さんたちが毎日練習されたダンスを発表したり、ボランティアで来てくださった方々の歌やマジックショーを観たりしました。利用者さんたちは勿論の事、保護者の方々にも楽しんで頂き、喜ばしく思うと共に、その場に携われた事を嬉しく思います。

利用者の方々は年齢とともに、身体能力の低下が目につくようになってきています。そんな毎日の中で、利用者さんたちが怪我なく、充実した日々を送ることが出来るような支援・援助を心掛けて仕事をしています。

松阪市展に入選！



松阪地域の美術文化の祭典である第五十二回松阪市美術展覧会洋画部門に二名の利用者さんの公募作品が入選し、十月八日から十六日までの間、松阪市文化財センターギャラリー（旧カネボウ赤レンガ倉庫）に展示されました。

創作活動の一つとして、四季折々の作品を制作していましたが、その成果が現れた結果だと思っております。

利用者さんには、これからも多くの作品を描いて頂き、デイルームの壁面を飾り心を癒してもらいたいと思います。

『ゆめ』
T・Mさん

『いころ』
A・Tさん

生活支援員 創作活動担当 田中修

大淀ビーチクリーン

ウミガメが産卵に訪れる町、明和町の大淀海岸で、地元の有志の方々を中心としたビーチクリーン活動が行われています。『ゴミは勝手に歩かない』の意識をみんなが持てる様に地道な活動を続け、海岸清掃をしています。

最初は少人数で立ち上げ

が、現在は大淀地区以外にも沢山の方が参加され、昨年五月からは聖愛園も参加させていただいています。最初は続けていけるのか心配でしたが、快く受け入れていただき、地域の方々と談笑しながらゴミ拾いをしています。



夏にはビーチクリーンさんにブースを提供していただき大淀花火大会にも参加しました。本当に良い地域交流をさせていただき、利用者さん、職員ともに毎月の参加を楽しみにしています。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

宜しければ皆様も大淀海岸ビーチクリーンに参加してみたいかがでしょうか。

生活支援員 加藤英剛

御厚情深く御礼申し上げます

自平成二十三年七月十三日
至平成二十四年一月十五日

ご芳志ご芳名 敬称省略)

保護者会・本田敏・本多師子
石川繁子・水谷英男・西村郁三
山岡隆・戸野和雄

物品寄付ご芳名 敬称省略)

加藤八州和・伊藤福美・岩城央生
石川繁子・中野久子・山野弘子
神廣かよ・松尾陸夫・平山照
水谷英男・山内常美・中野数見
大谷勲・本多師子
(株)西組・(株)内金・三光運輸
丹生大師・ウサギや・小山(株)
(株)光洋・(株)三重義肢製作所
杉本綾子・田山耕三・朝田和子
川上悦子
戸野和雄

(他にも匿名で品物を頂戴しております。)

機関紙ひだまり第三十五号を発行させていただきました。年二回の発行ということで少し季節外れの記事もございますが、ご一読いただければ幸いです。ブログ『聖愛園☆活動日記』では日々の活動を随時更新しておりますので、こちらも是非ご覧いただければと思います。

編集 事務員 戸野歩